

2013 年度中部支部地盤工学研究室学生交流会 参加報告 in 名古屋大学

名古屋大学 M1 山岡大祐

11 月 30 日（土）名古屋大学で 2013 年度中部支部地盤工学研究室学生交流会が開催されました。学生交流会には、愛知工業大学、岐阜大学、大同大学、中部大学、名古屋大学、名古屋工業大学の計 6 大学が参加しました。交流会の内容は、一軸圧縮強度とバスケットボールを、各大学から研究室ごとに分かれて参加しているところもあり計 16 チームで競うといったものでした。

午前中は、一軸圧縮コンテストで使用する供試体を作成しました。一軸圧縮コンテストでは圧縮強度だけでなく、粘り強さや重量、費用も評価基準となっているため、各チームそれらのことを考慮して供試体を作成していきましました。私の所属する名古屋大学山田研は、供試体作成に水は使用せず、代わりに洗剤を使用しました。これは、洗剤の潜在能力に期待して、水よりも粘性があり供試体が粘り強くなると考え行った作戦です。また、発泡スチロールを混ぜ、軽量化を図るなどの工夫を行いました。これらの作戦が結果にどう影響したのかについては後述しますが、今私がこの報告書を書いていることから想像は容易でしょう。

昼食後は、名大付属高校の体育館を借りてバスケットボール大会を行いました。参加チームが 16 チームだったので、4 チームずつ 4 ブロックに分かれて予選リーグを行い、その後それぞれのブロックで順位が同じだったチームが集まり、順位決定戦を行いました。名大山田研は健闘虚しく予選ブロック 4 チーム中 4 位。順位決定戦で 4 チーム中 2 位。バスケットボール大会の全体順位は 16 チーム 14 位でした。

バスケットボール大会後は、各研究室の研究室紹介が行われました。この研究室紹介では、自分とは違う大学の研究内容を知ることができ、非常に興味深かったです。また、それだけでなく、発表には各研究室の色が出ていてとても盛り上がりました。

その後、午前中に作成した供試体を用いて一軸圧縮コンテストが南部生協の 3 階で行われました。一軸圧縮試験を行うと同時に、応力 ひずみ関係グラフにプロットしていくものをスクリーンに映してコンテストは進められました。リアルタイムで結果を知ることができるため、みんなスクリーンの近くで結果を見つめていました。私のチームの供試体は発泡スチロールの周辺からひびが入り、早々と壊れてしまいました。あまりに呆気ない幕切れで結果は最下位でした。

コンテスト後は懇親会が行われ、お酒を飲みながら他大学の学生と交流でき、とても楽しかったです。

バスケットボール大会と一軸圧縮コンテストの結果を合わせて名大山田研は総合最下位でした。山田先生、申し訳ありませんでした。しかし、同じ名大の野田研が総合 1 位に輝き、名大が 1 位と最下位を独占したので結果的には良かったのではないのでしょうか。

参加されたみなさん、お疲れ様でした。